令和６年度　事業報告書

自　令和　６年４月　１日

至　令和　７年３月３１日

公益財団法人　　三井住友海上福祉財団

令和６年度事業報告書

Ⅰ．事　業

１．概　要

三井住友海上火災保険株式会社からの寄付金を柱としながら、各保有有価証券（ＭＳ＆ＡＤインシュアランスグループホールディングス・上場株式投資信託）の配当と各種債券（国債等）の利息を合わせ、従来からの事業規模を維持・拡大できるだけの運用収入が得られた。その結果、6,526 万円の事業費総額となり、引き続き着実な公益目的事業に寄与する活動を行うことができた。

事業内容としては、「交通事故・各種災害の防止等」と「高齢者福祉」の 2 分野で助成事業を実施。助成金の分野別内訳は、交通事故・各種災害の防止等分野が 1,821 万円、高齢者福祉分野が 3,655 万円となった。

なお、当財団の昭和 50 年発足以来の助成金の累計金額は 26 億 4,873 万円、累計件数は 2,376 件となっている。

２．事業実績

当年度の事業分野別、事業種類別の助成件数、助成金額は次のとおり。

（１）交通事故・各種災害の防止等分野

	助成件数	助成金額(万円)
研　　究	１９	１，６６７
著作・論文表彰	２	６０
普及・啓発	４	９４
助成計	２５	１，８２１

（２）高齢者福祉分野

	助成件数	助成金額(万円)
研　　究	２５	３，４９５
著作・論文表彰	２	６０
施設・事業	１	１００
助成計	２８	３，６５５

（３）事業費合計（交通事故・各種災害の防止等分野＋高齢者福祉分野）

	助成件数	助成金額(万円)
研　　究	４４	５，１６２
著作・論文表彰	４	１２０
普及・啓発	４	９４
施設・事業	１	１００
助成計	５３	５，４７６
付帯費計		１，０５０
事業費合計（助成金＋付帯費）		６，５２６

３．当年度の主な事業

当年度における助成内容、助成先および助成金額は別紙「事業一覧」のとおり。

（１）研究助成

当財団の助成事業の中心は研究助成であるが、当年度についても合計 44 件、総額 5,162 万円の研究助成を行った。これは、助成金総額の約 9 割を占めている。

①国内研究助成

ａ．応募と決定の件数

研究助成の応募件数、申請額ならびに決定件数、決定金額は次のとおり。

	応募件数	申請額(万円)	決定件数	決定金額(万円)
交通事故・各種災害の防止等分野	３６	５，３９７	１２	１，１６９
高齢者福祉分野	１１７	１９，９１４	２５	３，４９５
合　計	１５３	２５，３１１	３７	４，６６４

ｂ．募集、選考および決定の状況

当年度は令和 6 年 4 月 1 日から 6 月 30 日の期間に募集した。募集にあたっては、できるだけ広くから多数の応募を受けられるよう、「応募要項」を当財団のホームページに掲載した他、助成財団センターホームページの助成金募集ニュース『助成・奨学情報 navi』、大学病院情報ネットワーク（略称 UMIN）のホームページなど、多くの媒体に掲載するよう周知に努め、応募件数は合計 153 件となった。

交通事故･各種災害の防止等分野では選考委員会を 9 月 5 日に開催し 12 件（1,169 万円）を、高齢者福祉分野では選考委員会を 9 月 30 日に開催し 25 件（3,495 万円）を選定した。さらに、選考結果を 10 月 25 日開催の第 155 回理事会で諮り助成を決定した。当年度も幅広いテーマから水準の高い研究を選ぶことができた。

<u>選考委員</u>

交通事故・各種災害の防止等分野	髙田　邦道	（委員長）	日本大学名誉教授　交通工学
	鈴木　春男		千葉大学名誉教授　交通社会学
	太田　博雄		東北工業大学名誉教授　交通心理学
	関根　太郎		日本大学理工学部教授　自動車工学
	小川　武希		東京慈恵会医科大学名誉教授　救急医学
高齢者福祉分野	大内　尉義	（委員長）	虎の門病院顧問　老年医学
	大泉　博子		元衆議院議員、元国際医療福祉大学客員教授　ｿｰｼｬﾙｻｰﾋﾞｽ
	児玉　桂子		日本社会事業大学名誉教授　福祉生活環境学
	島崎　謙治		国際医療福祉大学大学院教授　社会保障法･医療政策
	岩本　俊彦		東京医科大学名誉教授　老年医学
	秋下　雅弘		東京都健康長寿医療ｾﾝﾀｰ ｾﾝﾀｰ長　老年医学

＊役職は、令和 7 年 3 月 31 日時点で記載

ｃ．研究結果の開示

令和 4 年度に助成した研究を中心に、合計 42 件の研究結果を収録した「研究結果報告書集　第 28 巻」（A4 判 216 頁）を 7 月に刊行し、研究者および関係先に配布したほか、同書の内容を当財団のホームページにも掲載した。また、当財団が助成した研究の成果を広く活用いただけるよう、当財団ホームページに検索機能を搭載し、利便性の高い環境にするよう努めている。

なお、当財団が助成を決定した研究課題リスト（助成研究課題、助成対象者および助成金額）は、当財団のホームページで公開しているほか、助成財団センターにも提供している。

②海外研究助成

海外研究助成は平成 19 年度に三井住友海上アジア持株会社（当時）、平成 30 年度に明台産物保険社の協業を得て開始した。現在もタイと台湾において交通事故・各種災害の防止等分野の研究助成事業を行っている。

国内に準じた方法で現地で募集・選考を行い（かつ、国内選考委員会でも確認・追認）、両国・地域の合計で 7 件、総額 498 万円の研究助成を行った。

国・地域	台湾	タイ
委託運営先	明台産物保険股份有限公司 （財団法人保険事業発展中心）	三井住友海上火災保険㈱ タイ支店
現地選考委員	羅孝賢　博士 淡江大学運輸管理学系　教授	Dr.Chatchawal Simaskul Plan and Policy Analyst, Professional level Office of Transport and Traffic Policy and Planning, Ministry of Transport

（2）「三井住友海上福祉財団賞」－　著作・論文表彰　－

交通事故・各種災害の防止等と高齢者福祉の分野での優れた著作・論文を表彰する「三井住友海上福祉財団賞」の募集を行い、交通事故・各種災害の防止等分野で 5 件、高齢者福祉分野で 21 件の応募があった。

① 募集対象期間　令和 4 年 4 月から令和 6 年 3 月の 2 年間に発表された著作・論文
② 募集方法　自薦および他薦
③ 応募期間　令和 6 年 4 月 1 日から 6 月 30 日まで

前記の研究助成と同様に厳正なる選考を行った結果、交通事故・各種災害の防止等分野の著作 2 点と高齢者福祉分野の論文 2 点の計 4 点が「財団奨励賞」として選考された。選考結果を 10 月 25 日開催の第 155 回理事会に諮り、財団奨励賞（副賞 30 万円）の贈呈を決定した。

【交通事故・各種災害の防止等分野】

財団賞　該当者なし

財団奨励賞　－著作 2 点－

著者：近藤　誠司　関西大学　社会安全学部　教授
題名：防災教育学の新機軸
まなび合いのアクションリサーチ

著者：辻本　勝久　和歌山大学　経済学部　教授
題名：SDG s 時代の地方都市圏の交通まちづくり

【高齢者福祉分野】

財団賞　該当者なし

財団奨励賞　－論文２点－

著者：大須賀　洋祐　国立長寿医療研究センター　フレイル研究部　副部長
題名：Occupational Fall Risk Assessment Tool for older workers
高齢労働者のための就業転倒リスク評価ツール

著者：井手　一茂　千葉大学予防医学センター　特任助教
題名：Participation in Community Gathering Places and Subsequent Health and Well-Being: An Outcome-Wide Analysis
高齢者における通いの場参加とその後の健康・ウェルビーイング：アウトカムワイド分析

（３）普及・啓発助成

当年度も交通事故・各種災害の防止等分野において、内閣府が主催する春・秋の全国交通安全運動に協賛して同運動用のポスター費用として寄贈したほか、交通安全フォーラム推進協議会開催への協賛や警察庁が主催する交通安全ファミリー作文コンクールにも協賛し、合計４件に対して総額 94 万円を助成した。

（４）施設・事業助成

デイサービス利用者の送迎等に使用する介護用福祉車両購入費用の補助として、１施設に総額 100 万円の助成を行った。

４．研究助成および財団賞の贈呈式開催

国内研究助成・財団賞の贈呈式を令和６年 11 月 26 日に六本木・住友会館において開催した。

来賓の内閣府大臣官房審議官（共生・共助担当）由布和嘉子様からご挨拶をいただき、交通事故・各種災害の防止等分野は髙田邦道選考委員長から、高齢者福祉分野は大内尉義選考委員長から講評が行われた。その後、柄澤理事長から財団奨励賞受賞者に表彰状、研究助成対象者に贈呈状が手交され、財団奨励賞受賞者と研究助成対象者の各 1 名による記念講演が行われた。

海外研究助成の贈呈式は令和６年 12 月 12 日に台湾の台北で、令和７年１月 24 日にタイのバンコクでそれぞれ開催され、令和６年度助成先の各研究者へ目録を贈呈し、令和５年度助成先の各研究者が研究成果を発表した。

Ⅱ．理事会・評議員会

１．理事会

○第 154 回理事会	令和６年６月３日開催
第１号議案	令和５年度事業報告および決算、並びに行政庁への定期提出書類承認の件
第２号議案	第 25 回評議員会（定時）の招集承認の件

○第 155 回理事会　　令和 6 年 10 月 25 日開催
第 1 号議案　　令和 6 年度研究助成事業承認の件
第 2 号議案　　令和 6 年度財団賞・財団奨励賞授賞承認の件
第 3 号議案　　高齢者福祉分野・施設助成承認の件
第 4 号議案　　財団設立 50 周年記念事業承認の件
第 5 号議案　　役員賠償責任保険（D&O 保険）更改承認の件
第 6 号議案　　第 26 回評議員会（臨時）の招集承認の件

○第 156 回理事会　　令和 7 年 3 月 17 日開催
第 1 号議案　　令和 7 年度事業計画および令和 7 年度予算承認の件

○理事全員の書面による同意に基づく決議の省略
理事会の決議があったとみなされた日：令和 7 年 3 月 28 日
理事会の決議があったものとみなされた事項：
専務理事（代表理事）選任および専務理事の事務局長委嘱承認の件

2．評議員会
○第 25 回評議員会　　令和 6 年 6 月 19 日開催
第 1 号議案　　令和 5 年度事業報告および決算承認の件

○第 26 回評議員会　　令和 7 年 3 月 17 日開催
第 1 号議案　　理事選任の件
第 2 号議案　　理事長の令和 7 年度報酬承認の件
第 3 号議案　　常勤理事の令和 7 年度報酬承認の件

Ⅲ．その他
1．年次報告書の発行
年次報告書「一年のあゆみ－令和 5 年度年報」を令和 6 年 7 月に発行した。

Ⅳ．新たな公益認定法第 21 条第 4 項（令和 7 年 4 月 1 日施行）に対応する事項

1．公益目的事業の実施状況
（1）公益目的事業の実績に対する測定・評価
当年度は昨今順調な有価証券の配当金収入を、公益により一層還元するために、国内研究助成において当初の予算を＋1,224 万円と大きく上回る助成を実施した（実績前年差＋1,139 万円）。今後もできる限り助成活動を充実させていきたい。

2．運営体制の充実を図るための取組（ガバナンスの強化・確保）
（1）理事・監事への情報提供
専務理事の交代に際して、3 月評議員会で諮る前に理事・監事全員に候補者の経歴書を送付し、事前に情報を共有した。

（2）経理上のガバナンス態勢
・経費の振込は、すべて三井住友銀行のオンラインシステム（ValueDoor）による二重認証で実施。特定の職員 1 名での振込は不可能な状態にある。
・財団公印（銀行届出印）とキャッシュカードは、金庫の特定箇所にあるが、その鍵は常に専務理事が保管しており、自由に取り出せない状態としている。

・さらに、毎月月初に専務理事自らが金庫内の預金通帳やその他資料を確認
・上期決算・年度末決算で作成する財産目録については、専務理事自らも直接各バウチャー（残高証明等）と照合して確認している。

以上

＜別紙＞

公益財団法人　三井住友海上福祉財団
令和６年度事業一覧

（１）交通事故・各種災害の防止等分野

①研究助成

a. 国内

No.	研究代表者		研究課題	助成金額（万円）
1	日本大学 理工学部交通システム工学科 助教	青山 恵里	幹線道路の道路条件および交通状況から見る生活道路の交通事故の特徴および交通事故対策に関する研究	120
2	東京科学大学病院 脳神経外科 助教	阿部 大数	パッチ脳波計と自動瞳孔計による頭部外傷患者重症度の新たな評価指標の開発	140
3	札幌医科大学附属産学・地域連携センター 特任准教授	板垣 史郎	交通事故医療の質の向上に資する、間欠動作機能を備える革新的低圧吸引器の開発	50
4	弘前大学大学院 地域社会研究科 客員研究員	大野　悠貴	運転免許返納リスクの情報提示を起点とした高齢ドライバーの多様な移動手段選択方策の実践研究	100
5	千葉大学大学院 医学薬学府 大学院生	北村 昂己	交通事故に伴う脊椎骨折の見逃しを防ぐための大規模言語モデルを用いた電子カルテスクリーニングシステムの開発	80
6	大分県警察本部 刑事部科学捜査研究所 主任研究員	末房 優子	アルコールバイオマーカーに着目した飲酒運転時における体内アルコール濃度推定に関する研究 －アルコール等影響発覚免脱事案への適用を目指して－	120
7	鳥取大学 工学部 教授	田村 篤敬	被追突時のむち打ち損傷を予防する乗員保護シートコンセプトの開発	60
8	名古屋大学 准教授	藤原 幸一	触覚疑似心拍フィードバックによる運転中のフラストレーション軽減とあおり運転防止	100
9	東京ベイ・浦安市川医療センター 救命救急センター センター長	舩越 拓	発生場所、事故状況、受傷内容などの自転車事故の実態を明らかにするための国内多施設横断研究	130
10	豊田都市交通研究所 主幹研究員	三村 泰広	生活道路における交通事故リスクと安心感の不整合メカニズムの解明	150
11	関西医科大学 リハビリテーション学部 助教	宮原 智子	高次脳機能障害者の就労継続に必要な要因に関する研究	29
12	熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター 准教授	吉城 秀治	地球沸騰化時代における小学生の登下校環境のあり方の検討	90

b.海外

No.	研究代表者		研究課題	助成金額（万円）
13	Research Assistant School of Public Health, Walailak University	Francis Walugembe	Keeping Teenagers Safe on the Roads: Developing A Regional Road Safety Education Program in Nakhon Si Thammarat Province, Thailand （道路上での青少年の安全確保: タイのナコンシータマラート県における地域道路安全教育プログラムの開発）	70
14	Associate professor King Mongkut's University of Technology Thonburi	Pattaramon Jongpradist	Advanced Safety Design and Analysis for Electric Motorcycles in Thailand （タイにおける電動バイクの高度な安全設計と分析）	70
15	Assistant Professor Faculty of Engineering, Thai-Nichi Institute of Technology	Pimpet Sratong-on	The sustainable development of the bio-based fire-retardant guide post from mycelium-based composite using spent coffee grounds mixed with agro-waste and recycled paper （使用済みコーヒーかすと農業廃棄物およびリサイクル紙を混合した菌糸体ベースの複合材料からバイオベースの耐火ガイドポストの持続可能な開発）	70
16	Assistant Professor Department of Urban and Regional Planning, Faculty of Architecture, Chulalongkorn University	Napong Tao Rugkhapan	Understanding wrong-way driving from from anthropological and geographic perspectives （人類学的・地理学的視点からの逆走の理解）	70
17	Master's Student Department of Transportationand Communication Management Science, NationalCheng Kung University	王姮富 Heng-Fu Wang	Examining the Risk of the Near Misses for Light Rail Transit Using Multinomial - Generalized Poisson Models （ライトレール輸送（LRT：小型軽量交通システム）のニアミスに関するリスク分析）	97
18	Associate Professor Department of Merchant Marine, National Taiwan Ocean University	劉中平 Chung-Ping Liu	The Near-Miss Risk Assessment of LNG Ships （LNG船（液化天然ガス・タンカー）の事故傾向とニアミスに関するリスク評価分析）	97
19	Department of RiskManagement and Insurance of Feng Chia University	許文彦 Wen-Yen Hsu	The Loss Experience of Auto Physical Damage Insurance Sold Through Internet in Taiwan （台湾におけるインターネット加入自動車保険契約の損害（他チャネルとの比較）研究）	97

研究助成　小計　19件　1,740万円

（内　明台産物社負担75万円）

②著作・論文表彰

著者		題名	副賞（万円）
関西大学 社会安全学部 教授	近藤　誠司	【著作・財団奨励賞】 防災教育学の新機軸 まなび合いのアクションリサーチ	30
和歌山大学 経済学部 教授	辻本　勝久	【著作・財団奨励賞】 SDGs時代の地方都市圏の交通まちづくり	30

著作・論文表彰　小計　2件　60万円

③普及・啓発助成

No.	助　成　先	助成内容	助成金額（万円）
1	（一財）日本交通安全教育普及協会	「交通安全ファミリー作文コンクール」募集ポスター作成費用他	59
2	内閣府（政策調整担当）	「秋の全国交通安全運動」ポスター作成配付費用	5
3	交通安全フォーラム推進協議会	「交通安全フォーラム」協賛	25
4	内閣府（政策調整担当）	「春の全国交通安全運動」ポスター作成費用	5

普及・啓発助成　小計　4件　94万円

交通事故・各種災害の防止等分野　合計　25件　1,894万円

（内　明台産物社負担75万円）

（２）高齢者福祉分野

①研究助成

No.	研究代表者		研究課題	助成金額（万円）
1	高知大学 教育研究部医療学系 基礎医学部門 遺伝子機能解析学講座 教授	麻生 悌二郎	抗アルツハイマー病因子 BRI2/BRI3 のユビキチン化阻害による革新的認知症創薬	170
2	宮崎大学医学部附属病院 名誉教授	荒木　賢二	医学的知識に基づく生成AIを用いた介護施設ケース記録のサマリー生成による暗黙知の共有と活用	100
3	東京大学医学部附属病院 22世紀医療センター ロコモ予防学講座 特任助教	飯高 世子	骨、関節、筋疾患の包括的な疫学指標と予後への影響の解明：20 年にわたる地域住民コホートの追跡	170
4	東京科学大学 脳神経外科 講師	稲次　基希	AIを用いた、非侵襲的嚥下機能評価アプリケーション開発の研究	100
5	信州大学医学部附属病院 整形外科 講師	上原 将志	無作為抽出地域住民コホートを用いた脊椎姿勢異常の病態解明（第2期おぶせスタディ）	160
6	名古屋大学大学院 医学系研究科 地域在宅医療学・老年科学 教授	梅垣 宏行	老年内科の入院患者における抗コリン薬リスクと潜在的不適切処方の意義の検討	170
7	国立長寿医療研究センター 医療経済研究部 副部長 老年内科部 医長（兼任）	大西 丈二	プロブレムリストや高齢者総合機能評価等のテキストデータをデータベース化するプログラム開発とそれを用いた臨床転帰および医療費との関連に関する分析研究	160
8	大阪大学大学院 薬学研究科 准教授	尾花 理徳	ポドサイトにおける新規分子機構に着目した、加齢が腎臓に与える影響の解明	160
9	東京大学大学院 工学系研究科 電気系工学専攻 特任教授	亀﨑 允啓	ウェアラブル・コントロール・モーメント・ジャイロを用いたライトタッチ効果に基づく歩行安定性効果の検証	160
10	東京科学大学 介護・在宅医療連携システム開発学講座/総合診療科 教授	木村 琢磨	在宅医療を新規導入後に緊急入院する患者、再び自宅へ退院可能な患者の背景因子に関する検討	100
11	東京医科大学 薬理学分野 講師	草苅 伸也	認知症原因蛋白のミトコンドリア内異常多量体形成による細胞死機構の解明とこれを標的とした治療薬開発	160
12	京都大学大学院 医学研究科 腫瘍生物学講座 助教	佐伯 龍之介	高齢者におけるクローン性造血を標的とした次世代の予防医療の基盤構築	160
13	東京都健康長寿医療センター研究所 準主任研究員	佐々木 紀彦	老化内皮細胞由来SULF2による加齢性疾患の発症、重症化機構の解明	160
14	国立長寿医療研究センター バイオインフォマティクス研究部 部長	重水 大智	全ゲノム解析を基盤としたレビー小体型認知症の病態メカニズムの解明	170
15	千葉大学大学院 情報学研究院 助教	實石　幸穂	機械学習的手法を用いた高齢者のせん妄発症予測モデルの開発　－経時的データに着目して－	100
16	公立学校共済組合九州中央病院 泌尿器科 部長	関 成人	オムツはずしの実践 －高齢者における排尿管理簡易マニュアルの有効性の検討－	100
17	大阪公立大学大学院 医学研究科病態生理学講師	高杉 征樹	比較生物学的手法を駆使した、加齢に伴う生体適応機構の解明	200

No.	研究代表者		研究課題	助成金額（万円）
18	山梨大学大学院 医工農学総合教育部 博士課程 ヒューマンヘルスケア学専攻	瀧本 まどか	長期療養施設の経管栄養管理中の高齢者の夜間多尿と水分摂取量と体組成の関係：観察研究 横断研究	40
19	東京都健康長寿医療センター 腎臓内科・透析科 部長	武井　卓	高齢慢性腎臓病患者に対する保存的腎臓療法と透析療法の生命予後と機能予後およびQOLの比較研究	170
20	健康心理教育実践センター 理事長	竹中　晃二	高齢者の生きがい強化を目的とした行動変容型介入ワークブックの開発および活用	120
21	福井大学医学部附属病院 救急部・集中治療部 病院助教	秦 龍彦	救急外来で人工呼吸器管理が必要となった高齢者の退院時日常生活活動度の予測モデル作成	160
22	慶應義塾大学 医学部 衛生学公衆衛生学教室 特任助教	船田　哲	医療需給バランスに基づいた最適な医療提供体制の提示	120
23	兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 客員教授	三谷 雅純	言葉を理解できなくなった聴覚失認者および類似の症状を持つ高齢者の認識する生活世界の研究	90
24	大阪大学大学院 医学系研究科 生化学・分子生物学講座 遺伝学 特任助教（常勤）	南 聡	慢性腎臓病進展に関わる SASP 因子の探索とその作用機構解析：健康長寿の実現に向けて	170
25	順天堂大学大学院 医学研究科 循環器内科学 准教授	横山 美帆	高齢心血管疾患患者の移行期ケアにおける心臓リハビリテーション断片化予防を目的とした病院地域連携パスの開発	125

研究助成　小計　25件　3,495万円

②著作・論文表彰

著者		題名	副賞（万円）
国立長寿医療研究センター フレイル研究部 副部長	大須賀　洋祐	【論文・財団奨励賞】 Occupational Fall Risk Assessment Tool for older workers 高齢労働者のための就業転倒リスク評価ツール	30
千葉大学予防医学センター 特任助教	井出　一茂	【論文・財団奨励賞】 Participation in Community Gathering Places and Subsequent Health and Well-Being: An Outcome-Wide Analysis 高齢者における通いの場参加とその後の健康・ウェルビーイング：アウトカムワイド分析	30

著作・論文表彰　小計　2件　60万円

③施設・事業助成

No.	助　成　先	助成内容	助成金額（万円）
1	社会福祉法人　仁風会	送迎用福祉車両購入費用（大阪府　東大阪市）	100

施設・事業助成　小計1件　100万円

高齢者福祉分野　合計　28件　3,655万円

2分野合計　53件　5,549万円

（内　明台産物社負担75万円）